

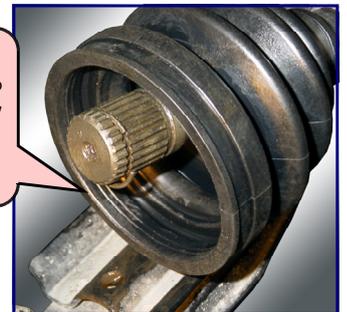


model : DS-309
DRIVE JOINT INSERTER

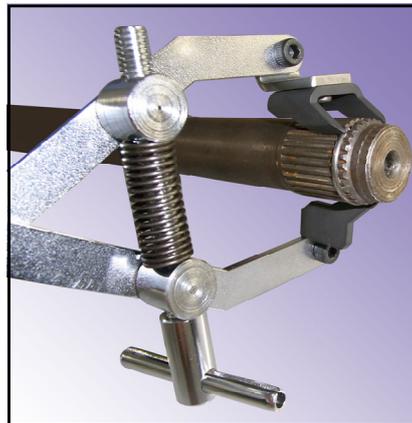
ドライブジョイントインサーター

サークリップ (Cリング) を、3方から爪先で押さえ付け、スムーズに挿入できるよう案内をします。ハンマー打撃により、爪は後方へ移動して、シャフトの装着ができます。

こんな時は要注意！
このまま無理に入れようとすると、サークリップおよびシャフトスプライン部を損傷します！
DSをご指名ください！

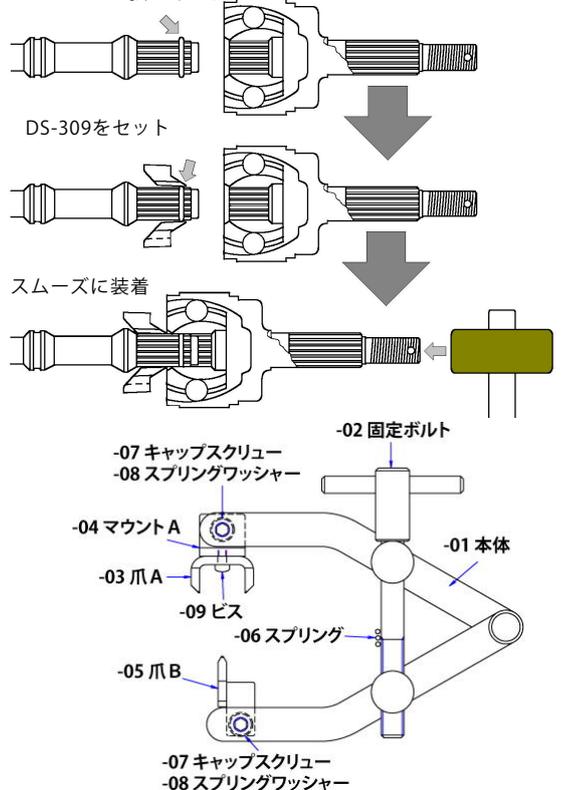


ドライブシャフトの、アウター(ホイール)側固定ジョイント分離によるブーツ交換後、サークリップの張り出しにより装着困難な、シャフトの再装着が簡単にできるサポートツールです!!



爪は消耗品です。先端部がつぶれたり、折れてしまった時は補修部品に交換してください。

サークリップが張っている



使用方法

- 1, ツールの爪先端(尖っている方)が、ドライブシャフト先端方向へ 向くようにかまえ、サークリップ(Cリング)が、セレーション部のミゾ内へ、いちばんバランス良く収まるよう位置決めし、できるだけ爪の先端部でクランプします。
 <！> 締め付けすぎに注意！サークリップの切り口が、セレーションの山径より少し小さくなった程度でOKです。それ以上無理に締め込むと、サークリップを傷つけたり、後のハンマー作業時に、ツールの爪が破損します。
- 2, 固定ジョイント内に、ドライブシャフト先端部を挿入し、セレーションを合わせます。そして、固定ジョイントとドライブシャフトが、垂直になるようかまえ、固定ジョイント先端部を、プラスチックハンマーなどで一気に打ち込みます。
 <！> 先端ネジ部は、ナットを装着するなどして保護して下さい。(写真には写っておりませんが、実作業時は、先にブーツを傷つけないよう保護した上で挿入し、ナットも装着して下さい。)
 <！> ハンマー打撃は、的確に1回で行って下さい。1回で入らなかった時は、爪の位置がずれてしまう場合がありますので、そのまま叩かず、1, に戻り再度セッティングし直して下さい。
- 3, サークリップが、固定ジョイント内のセレーション先端に入ったら、ツールを外しロックされるまでしっかりと挿入して下さい。他作業は、メーカーの整備要領書を遵守して下さい。
 <！> サークリップ部分が通過したら、それ以上無理に叩かず、必ず先にツールを取り外して下さい。ツールの爪が破損します。

◆◆◆◆ 使用上の注意事項 ◆◆◆◆

- <！> FF車フロントドライブシャフト用。汎用ツールですので、スプライン形状と爪位置が完全には合わないことがあります。ご了承下さい。
- <！> 爪先端部は、鋭利に加工されていますので、怪我をしないよう取扱いは十分に注意して下さい。
- <！> 金属ハンマーでの無理な強打は絶対に避けて下さい。ドライブシャフトおよびツール破損の原因となります。